

資料 2

河内長野市教育大綱（素案）新旧対照表

ページ	変更前	変更後
P 3 (図) 社会構造と教育の世界		削 除
P 3 16行目～17行目	社会が求める人材を育てることが公教育に期待された、 <u>いわば、有事の改革</u> と言えます。	社会が求める人材を育てることが公教育に期待された <u>大きな潮流の中での改革</u> と言えます。
P 4 16行目～18行目	現代の公教育は、 <u>教育史上第3の教育改革の流れに位置づくもので、これは、先行き不透明な未来を生きる上で拠り所となる自分自身の内部基準を、一人ひとりが持ち、自分なりの思考回路によって次代を切り拓いていくことのできる人づくりとも</u> 言え、 <u>先の2つ有事の改革とは異なり平時の改革</u> としての色合いが強く感じられます。	現代の公教育は、 <u>教育史上第3の教育改革の流れに位置づくもので、これは、先行き不透明な未来を生きる上で拠り所となる自分自身の内部基準を、一人ひとりが持ち、自分なりの思考回路によって次代を切り拓いていくことのできる社会の形成者を育てることであり、先の2つの改革とは色合いが大きく異なるもの</u> と言えます。
P 7 6行目～7行目	つまり、公教育は、 <u>ふるさとの人材を育成すると同時に、将来の我が国を支える人材を育成する</u> ・・・	つまり、公教育は、 <u>人格の完成を目指し、個性を尊重しつつ個人の能力を伸長すると同時に、将来の我が国を支える国民を育成する</u> ・・・
P 8 6行目	・・・○郷土を愛し他国を尊重する態度 等	・・・○郷土を愛し他国を尊重する態度 ○平和と国際理解 等

